

なんか、目の周りが痒かったり、鼻がぐずぐずしたり。

いよいよ花粉症か ... ?

とりあえずマスクでも書いに行こうかな。

夜はあいかわらず、USB のデバッグ ...

うーん、動かない。

ところで、FreeBSD は一度 USB の PnP に失敗すると (失敗のしかたによるのだろうけど)、内部の状態が Reset されないのか、二度目に USB プラグをさしたときに落ちる。

まあ、手動で usbd の状態をちゃんと Reset してあげればいいのだろうが、

分かっているにしても、そのまま挿してしまって悲しいことに。

いっぱい fsck させてしまった。

しかし Windows2000 は大丈夫みたいです。

Windows のデバイスの持ち方って結構、綺麗かもと思う今日この頃です。

.inf ファイルとかは評価できる存在な感じです。

FreeBSD では新しい USB デバイスを追加したいとき

/dev/usb/u\*.c とかを書きかえたりしてコンパイルしなおさなければいけませんが

Windows だったら inf を用意すればいいみたいですから。まあ物にもよるでしょうけど

USB もうまくユーザランドな層に切り離せないものなのだろうか、とか考えたりもしてます。

そのうちなるのかな？